説明: HOT_banner.pdf

　イベント報告書　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２０１７年１０月３１日

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 団　体 | **特定非営利活動法人ハンズオン東京** | 担 当 | **Team LIVES** |

（１）概要

|  |  |
| --- | --- |
| 名　称 | **LIVES TOKYO 「はたらく・たべる・わらう」** |
| 日　時 | ２０１７年９月１０日　（日）　１０：００～１７：００ |
| 場　所 | 東京ミッドタウン　ホールＡ，Ｂ，キャノピー・スクエア（東京都港区赤坂9丁目7-1-B1F） |
| 概　要 | 障がい者などの『はたらく・たべる・わらう』現状理解と今後について、障がい福祉分野で精力的に活躍されている障がい者の方や、先端的な技術でバリアを補う技術者、障がい者を雇用する経営者の皆様を招聘しケーススタディの紹介や、パネルディスカッションを行いました。また、リオ・パラリンピックの閉会式にも出演したパフォーマーによるエンターテインメントステージや、障がい者アーティストによる絵画展示、障がい者と健常者が運営するカフェやパラスポーツ体験・選手講演を展開しました。  なお、このイベント制作・PRは、健常者と障がい者で混成されたチームが担当。障がい者がその能力を活かして職を持ち社会参画する場を作ることで、新しい雇用ポテンシャルを創出しました。 |
| イベント  メッセージ | 私たちは、毎日仕事をし、  毎日ごはんを食べて、  毎日楽しく笑う。  そんな毎日の事が、あたり前と思って生活をしています。  しかし、そのあたり前の事が出来ない人たちがいます。  日本に於いて、そのような人たちは、まだまだ社会に出て生活をする事が難しい環境なのです。  障がいなど多様な個性を持つ事で、皆んなと同じように生活していくことがいかに難しいか。  一人一人の個性が輝き、みんなが一緒になって仕事をし、ごはんを食べて、楽しく笑えるような社会を作っていければと思い、LIVESプロジェクトをスタートします！ |
| イベント  内容 | ホールＡでは、障がい者のパフォーマー集団The Universeや、つんく♂さんがサウンドプロデュースした歌をBeverlyさんが熱唱したエンターテイメントステージや、障害当事者や障がい者を雇用する企業によるトークセッション、そして「私の理想の社会とは」というテーマで当事者が３分間で想いを伝える【LIVESMILE TALK】を行いました。  ホールＢでは、三井不動産株式会社による障がい者雇用に関する展示や、スイス大使館の協力で実現したサイバスロンの紹介など、先進的な企業・団体・個人によるブース出展を展開し、参加者も途切れることなく終了しました。  キャノピー・スクエアでは、パラスポーツ体験やパラアスリートによるトークセッション、障がい者が運営するカフェ、義足体験、そして　こどもの城児童合唱団による合唱を行いました。  また物販・展示スペースでは、就労継続支援事業所で作られた魅力的な製品及び食品の販売や、株式会社パソナハートフル所属のアーティストによる絵画を展示しました。  様々なコンテンツが東京ミッドタウン内で展開され、一度に多くの体験や学びの機会を参加者に提供することができました。 |

（２）報告事項

|  |
| --- |
| 参加人数 |
| 登録参加者（ミッドタウンホール HALL A）：705名  　一般参加①（ミッドタウンホール HALL B）:1718名  　一般参加②（ミッドタウン キャノピースクエア）:557名  　・参加ボランティア：100名  **〈合計〉3050名**  トークセッションとエンターテイメントステージを行なったホールAは、入れ替えもありながら常時満席状態となった。ホールBは従来の福祉展示会とはイメージの異なる人工芝を敷いたオープンなスペースでの展示会となり、参加者や展示出店者からの満足度も高く、参加者が途切れることがなく開催できた。キャノピー・スクエアで展開したカフェやパラスポーツ体験・トークセッションも全てのコンテンツを大勢の参加者とともに成功裏に終了した。 |
| PR効果 |
| 告知：  ｵﾌｨｼｬﾙWeb:　hataraku-taberu-warau.jp  Facebook: https://www.facebook.com/livesproject/  Instagram  Twitter  告知ﾑｰﾋﾞｰ　https://youtu.be/JOTKX-claIs  駅広告：六本木、恵比寿  掲載  TV：3件、ラジオ：3件、新聞8件、雑誌3件、WEB:128件  広告換算額　合計¥91,594,902- |
| 成果物 |
| 記録映像  　LIVES TOKYOメイキングビデオ、当日の内容を収録した動画（20分版と6分版）  LIVESプロジェクトのテーマ曲  　つんく♂プロデュースによる楽曲　「Happy Now」 |

（３）目的と成果

|  |
| --- |
| 目　的 |
| 参加した障がい者と健常者の間に、今後活かせる“つながり”を形成する。社会に輝きとインパクトをもたらし、障がい者・健常者ともに前向きな認識の醸成・転換を生み出す。 |
| 成　果 |
| さまざまな障がい、さまざまな国々、さまざまな年齢、さまざまな社会的ポジション（障がい者雇用に興味のある一般の社員、障がい者雇用に携わっている企業人事、CSR部門、人事部門、企業社長など）に幅広くPRすることができ、参加してくれたこと。  目的について、会場でのヒアリング、そして参加者の声（アンケートより）から鑑み、1度目としては高いレベルで達成できた。  イベント後も参加者からの感想として、SNSなどを通じて多くの投稿があり、反響の大きさが感じられた。 |

**参加者の声（アンケートより）**

・41～60歳「障がいをお持ちの方と直接お話ができたこと。知識ではなく、会話させていただくことで以前より少しはリアリティをもって感じられそうです。」

・41～60歳女性「プロモーション、会場、内容全てがおしゃれなイメージで、障がい＝暗い、哀しいという一般の方々の思い込みを払拭し、目を向けるきっかけになるのでは？と思いました。又、次回にも期待しています！」

・21~40歳女性「皆さんのエネルギー気持ち良かったです」

・61歳以上女性「ホールAでのトークセッションでお話を聞くことができてとても良かった。少しでも障害のある方に近づけた気がする」

・21~40歳女性「要約筆記、通訳などでコミュニケーションの壁がなくなり、その中で皆がcreativeになっている。その空間がよかったです。」

・61歳以上女性「障がい者の働く場所が沢山できることが必要だと思います。働く方法ももっと考えていくことも必要だと思います」

・21~40歳女性「障がいを持っているからこそ、何ができるか、大人だからこそ、子供だからこそ、何ができるかという目線を持つことから、ビジネスのヒントが生まれるという発想が印象に残りました。雇用率で定められているから障がい者を確保しなければならないという視点ではなく、こういう視点を持った社会がもっと進んでいけるといいなと思いました。」

・41～60歳男性「第1回とは思えない素晴らしい内容でした。HANDICAPの方にも社会の一員として普通に暮らせる日がくると良いと思いました。」

・41～60歳男性「障害が能力になる話が印象に残った」

・41～60歳「参加されている方々全ての人たちの笑顔が印象的でした」

・61歳以上女性「ダイバーシティ、人はそれぞれ役目をもって生まれてくる」

・10代男性「色んな話を聞いて世界がだんだん変わっていき、障害を持つ人のための人生をもっと楽にしていくという安心感がとても印象的でした。踊るパフォーマンスもとても良くて、幸せにやっているところを表そうとしていることがとても印象的でした。」